

# 迎春 今年もよろしく お願いします



～伝統芸能を伝える中野さん～

# 文化 なかの

中野市公民館報

2011  
No.70  
(通巻No.602)

1

発行  
中野市中央公民館  
編集  
文化なかの編集委員会

〒383-0025  
中野市三好町一丁目4番27号  
TEL 0269-22-2691  
FAX 0269-26-2342

## 今年も幸わせで ありますように

第34回を迎えた中野市婦人のつどいが12月6日(月)に開催されました。

当日は中野哲良(せんぜもん)さんを迎え、「せんぜもん 一人劇場 師走の宴」と題し、神楽舞・とりさし舞のほか、参加者と一緒民謡「壁ぬり甚句」を踊ったり、三味線の伴奏で、秋田県民謡「花笠音頭」を全員で歌いました。最後に寿獅子舞を舞って、参加者全員の頭をかじっていたいただき、参加者は感動もひとしおでした。

「師走の宴」にふさわしく熱のある演技は、「せんぜもん」の文字どおり身近で新鮮で温かみのある舞台となり、一年を締めくくるにふさわしい有意義な時間となりました。

今月号の  
特集

第38回中野市  
総合文化祭 芸能祭

## あおぞら

戦争体験者の  
思いを受け継いで

昨年7月、広島市の友人を山ノ内町に招き、被爆証言講話をしていただいた。彼女は昭和20年8月6日、14歳の時に爆心地から14kmのところまで被爆。心身に深い傷を負いながらもそれを乗り越えてきた。しかしこのことを誰にも話さなかつたという。数年前、師事していたデザイナーの森英恵さんに諭され、自身の被爆証言を話す決心をした。被爆体験者の年齢は70歳代以上と高齢化してきていて、直接会ってお話を聞ける機会もあとわずかである。次世代にどう核兵器の悲惨さと平和への切実な思いを伝えていくべきかが喫緊の問題である。

私自身も子どもの頃、父から戦争の話聞いた。父が戦争の話をするのは酒が入っているときだ。鉄砲の弾もなくなり石を投げて戦ったこと。手榴弾で負傷したこと。軍隊生活では何か物をなくすと連帯責任として徹底的に探したことが等。いつもは無口な父であったが、戦争のことを話すときの父は違っていた。その父はもういない。

戦争を体験していない私達は若い世代に何も語れないかも知れない。でも新年に当たってこう思う。まわりの人とのやりとりをうまくやって無難に一年を終えたいという気持ちもいだが、みんなが平和という方向に向かって語り合い、支え合って、力強く生活する一年にしていきたい。

(ムツゴロウ)

特集

# 第38回 中野市総合文化祭 芸能祭

## 幅広い演目で会場華やぐ



華麗なバレエの演技



懐かしい音色のハーモニカの演奏



元気いっぱいのチアリーディング



息のあった舞踊



練習の成果を発揮したバトントワリング

第38回中野市総合文化祭の芸能祭が12月5日（日）、市民会館ホールで開催されました。

この芸能祭は、文化芸術協会の芸能部門の発表の場として、中央公民館と共催して毎年行っています。

民謡、舞踊、落語、バトントワリング、バレエなど幅広いジャンルで成果を披露しました。開演時間の午前9時30分から参加者の熱演が続き、会場は終始、華やいでました。

今年24団体が出演しました。演目は箏曲、太鼓、ハーモニカ、ヒップホップダンス、詩舞、歌謡、

文化芸術協会へ  
加盟をお願いします

芸能祭は、子どもから高齢者まで、幅広い世代が一同に会して発表し、交流できる場です。

文化芸術協会は、本市の文化芸術の発展に寄与することを目的に活動しています。加盟を希望する団体は、お気軽に事務局の中央公民館までお問い合わせください。



### 第3回おはなしフェスティバル in NAKANO開催

中央公民館講堂で、12月4日(土)、第3回のおはなしフェスティバルin NAKANOが開催されました。これは、市内の読み聞かせや朗読のグループで構成されている「おはなしネットワーク☆NAKANO」と中央公民館が共催で行ったもので、当日は約80名が来場しました。

今回は、「おはなしの旅にでかけよう!」をテーマに、世界のお話の読み聞かせを行いました。有名なお話からはじめて聞くお話まで、5カ国のお話を発表しました。参加した子ども達もすぐにお話に夢中になり、親子で楽しめた一日になりました。



楽しいお話が続きました

### オペラを学ぶ会が 喜歌劇を上演

11月28日(日)、市民会館ホールにて、オペラを学ぶ会による喜歌劇「こうもり」の公演が開催されました。

オペラを学ぶ会は、平成15年度から三年に渡って行われた「なかの21市民講座・市民音楽講座」の受講者の有志で平成17年度に結成され、音楽

をより深く、より楽しく学ぶことをモットーに活動してきました。

今回、全3幕の本格的な公演に挑戦し、当日は満員の会場から笑いや歓声が起こり、今までの学習の成果を十分に発表できた公演となりました。



すばらしい歌声が響いたステージ

### 歴史講座開催

中央公民館では、11月11日(木)、25日(木)、12月16日(木)の3回にわたり、講師に湯本軍一先生(中世歴史研究者)を迎え、平成22年度の歴史講座を開催しました。

今年、「北信地方(北部)における真宗の発展」をテーマに、浄土真宗が、北信地方でどのように民衆に広まってきたかを室町時代から明治時代初期までをわかりやすく説明していただきました。

参加者からは、「たいへんに参考になりました。いただいた資料を元に再度勉強したい。」と感想がありました。



熱心に耳を傾ける受講者の皆さん

# こんにちは 分館

間山は、三方に山を抱え、北に北信五岳を望み、眼下に中野市街を見渡す、現在世帯数二二三戸・人口七六二人の村落です。公民館（分館）は、間山豊富神社境内に直礼殿と併設する木造入母屋造り二階建ての歴史を感じさせる建物です。

当分館は、館長・主事のもと、家政部・生産生活部・文化体育部・編集部（四部）に、合同行事及び各部の行事の連携を図る各部正副部長でつくる総務委員会があり、各部役員三十二名と館長・主事で構成しています。二二年度各事業は、三月・杉の芽

## 間山分館

会（老人クラブ）総会後援、五月・マイ箸作り（生産生活部・育成会協力）、六月・部員研修会（区民参加）、七月・家政部研修旅行（信州音楽村等）、八月・夏祭り、九月・敬老会（区共催）、十月・区民運動会（文化体育部）、十一月・総合文化祭等でした。毎年、その年の独自性を模索しながら各事業計画をたてています。特に、館報は部員四名に館長・主事が加わり、年六回（毎号八ページ）発行しています。公民館行事はもとより、成人式他地区の行事等カメラ片手に取材、企画・編集・校正にと知恵を出し合い発行、区民への広報誌として大きな役割を担っています。



研修旅行 ～みんなでラベンダー  
ステックづくりを楽しみました～

（分館長 鈴木保雄）

文化活動の拠点として、区民の交流・精神的高揚の場として、区民と共に、区他各団体の協力を得ながら、公民館が地域活性化に貢献できる様、試行錯誤しながら活動しています。

## ふるやとの歴史

間山温泉ばんぼこの湯の東の山裾に建応寺という修験寺があった。伝承では大同年間坂上田村麻呂の開基で、七堂伽藍と塔頭十二坊を備えていたが、川中島合戦で焼失したという。

昭和五三年から寺跡の発掘調査が行われた。傾斜地に五段の平坦地を設け、寺域は面積七〇〇〇平方メートル、北側に一〇〇坪ほどの土塁があった。中心のお堂は正面三間（七、八

## 雲井嶽信仰と建応寺

（材）・奥行五間（一一、二材）で、礎石に直径三五寸の柱の焼跡があった。堂の周囲には廻縁を巡らした立派な建物である。ほかに二つの堂の礎石や坊などの建物跡、仏像・鉄器・

土器などが発掘された。

この建応寺は東方の雲井嶽信仰と関係があると考えられる。雲井嶽を水源地とする十二川と裾無瀬川は、間山村の耕作と生活を支える生命線

である。その雲井嶽に宿る水分神に向かつて、文久三年（一八六三）山裾の「前の小場」で雨乞いをし、願いがかなったお札に法華塔の碑を建てている。建応寺は水分神に関係した神社の別当寺と考えられている（間山区史）。

「海野文書」に建応寺の子細は戸隠山本坊の帳面にあると記されてあり、戸隠神社とつながりのある修験寺であったようだ。また、飯山の小菅神社のような修験寺であったのだろう。

（河野 實）

## 西部公民館シニア大学公開講座

### 日本の民俗音楽

講演 その魅力と  
新たな創作の可能性

講師 木村俊介さん  
（和楽器奏者・作曲家）

内容 現在、和楽器奏者として第一線で活躍されている木村さんの講演会です。

当日は、篠笛、津軽三味線の演奏もあります。

日時 平成23年2月4日（金）  
午後1時30分から

会場・問い合わせ先  
西部公民館



## 中野市成人式のお知らせ

平成2年4月2日～平成3年4月1日生まれの方が対象となります。

現在、市外・県外にお住まいの方で、成人式に出席を希望される方は、事前に中央公民館までご連絡ください。

期日 5月4日（みどりの日）  
時間 午前9時30分受付  
午前10時開式  
会場 市民会館



# 今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

公民館ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/kominkan/>

	講座名	日時	場所	講師	備考
中央公民館	やしょうまづくり ～やしょうまとお楽しみ メニューをつくります～	2月9日(水) 午前10時～午後1時30分 2月12日(土) *親子対象 午前10時～午後1時30分	中央公民館 料理実習室	中野市食生活 改善推進協議会 の皆さん	<定員>各36名 <材料費>300円 <持ち物>エプロン、三角巾 ふきん、タッパー <申込み>1月18日(火)から
	シニア大学公開講座 演題 鈴木牧之の 「秋山紀行」について	2月10日(木) 午後1時30分～ 午後3時	中央公民館 講堂	信州大学名誉教授 滝澤 貞夫 先生	<受講料>無料 <申込み>不要 *どなたでもお気軽にご参 加ください。
	近代文学講座 「金子みすゞ やさしさと悲しみと」	2月19日(土) 午後1時30分～ 午後3時30分	中央公民館 講堂	文学研究家 堀井 正子 先生	<受講料>無料 <申込み>不要
公民館ギャラリー		信墨会の書道作品展			
北部公民館	高齢者大学公開講座 邦楽コンサート "新春 邦楽のしらべ"	1月11日(火) 午後1時30分～午後3時	北部公民館 研修室	ことの音会 の皆さん	<受講料>無料 持ち物なし *申込み不要でどなたでも 参加いただけます。
	高齢者大学公開講座 クラリネットの演奏 講演 「女性も男性も仲良く」	1月18日(火) 午後1時30分～午後3時	北部公民館 会議室	市役所 男女共同 参画推進室	
	高齢者大学公開講座 信州の文学を楽しむ	1月25日(火) 午後1時30分～午後3時	北部公民館 会議室	文学研究家 堀井 正子 先生	
	高齢者大学公開講座 悪徳商法(振込め詐欺) にあわないために	2月1日(火) 午後1時30分～午後3時	北部公民館 会議室	市役所 市民課	
	いきがづくり講座 絵手紙教室	1月20日(木)から 毎週木曜日・全6回 午後1時30分～ 午後3時30分	北部公民館 会議室	市川 典子 先生	<定員>15名 <材料費>1回100円程度 (はがき代) <持ち物>水彩絵の具一式 描いてみたい素材
西部公民館	やしょうまづくり講座	2月5日(土) 午前10時～午後1時	西部公民館 料理教室	長野県食生活改善 推進協議会顧問 原 楯 先生	<定員>20組 <材料費>200円 <持ち物>エプロン・三角巾 マスク <申込み>1月11日(火)から
豊田公民館	素敵に ウォーキング	1月25日・2月8日・22日 午後2時～午後3時30分 (全3回 毎回 火曜日)	豊田公民館 2階会議室	ウォーキング アドバイザー 斎藤 義人 先生	<定員>30名 <受講料>無料 <持ち物>運動のできる服装 運動靴、タオル、飲み物
	自分史を書いて みませんか	1月26日・2月9日・16日 午後2時～午後4時 (全3回 毎回 水曜日)	豊田公民館 101 会議室	元中野市教育長 宮川 洋一 先生	<定員>10名 <受講料>無料 <持ち物>筆記用具、 思い出のある写真1枚
	笑顔のストレッチ	2月3日(木) 午後2時～午後3時30分	豊田公民館 2階会議室	ヴェーネレ講師 神谷 陽子 先生	<定員>25名 <受講料>無料 <持ち物>鏡
	『徒然草』を楽しむ 一初めての徒然草一	2月7日(月) 午後1時30分～ 午後3時30分	豊田公民館 2階会議室	文学研究家 堀井 正子 先生	<定員>50名 <受講料>無料



晩秋／栗和田（月岡尚雄）

花郷  
Flower Home  
はなさと



サザンカ／自宅（月岡尚雄）



冬構え／高野辰之記念館（ちから）

## 花と季節の写真募集

宛先

〒383-0025  
中野市三好町一丁目4番27号  
中央公民館  
☎22・2691  
Eメール c-kominkan@city.nakano.  
nagano

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限り、四ツ切りまで（ワイドサイズも可）のプリント、デジタルデータ（未加工のもの）。氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送って下さい。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。

今年も感謝の気持ちで新しい年を迎えた。

感謝である。

は成り立たない。

公民館事業は、こうした方々の協力なしでは成り立たない。

たえている。

子どもらを見つめる目はいつも温かさをもたらしている。

泥だらけになりながら夢中で遊ぶ子どもたち。

穫まで段取りして下さっているものだ。

この水田は、毎年有志の方が田起しから収穫まで段取りして下さっているものだ。

夢中だ。

ると、カエルやアメンボを追いかけられることに

ヌルヌルとした泥の感触にすぐになれてく

た子どもたち。

はじめは足を入れることにさえ戸惑ってい

た子の歓声が聞こえてくる。

田植えが始まったばかりの水田から子ども

感謝の思いをこめて